

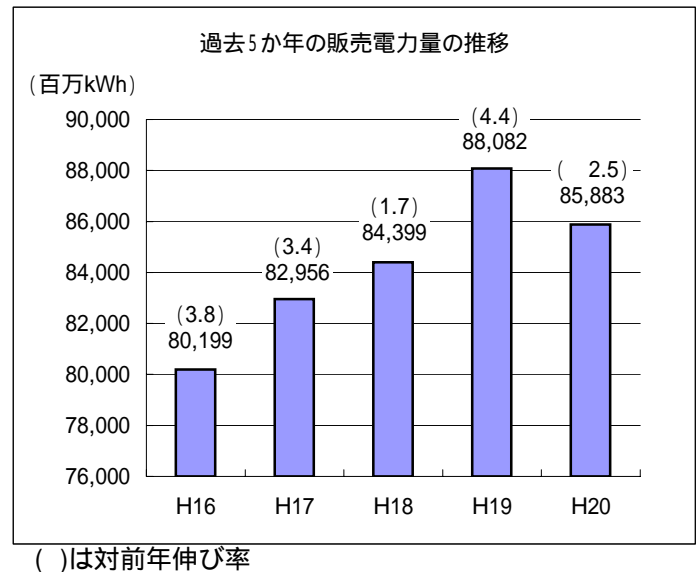
平成20年度 販売電力量

1 概況

平成20年度の販売電力量は、858億83百万kWhとなり、前年に対し 2.5%となりました。

(昭和61年度以来、22年ぶりに前年を下回り、 2.5%は過去最低)

		実績	対前年 伸び率
特定規模 需要以外の 需要	電 灯	29,254	1.0
	電 力	4,851	6.0
	低 圧	867	9.4
	その他		
電灯電力計		34,972	2.0
特定規模 需要	業 務 用	20,325	0.5
	産 業 用	30,586	4.4
	特定規模需要計	50,911	2.9
販売電力量合計		85,883	2.5
再 掲	一 般 需 要	61,859	1.6
	大 口 電 力	24,024	4.7



	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
一般需要	0.7	7.2	0.3	1.2	3.9	1.5	9.8	2.5	1.6
大口電力	3.2	2.4	2.8	11.0	15.4	23.6	22.6	12.8	4.7
合計	0.5	5.8	0.6	4.1	1.0	7.4	13.4	5.5	2.5

	H16	H17	H18	H19	H20
一般需要	4.1	3.0	0.1	3.6	1.6
大口電力	3.1	4.6	6.8	6.4	4.7
合計	3.8	3.4	1.7	4.4	2.5

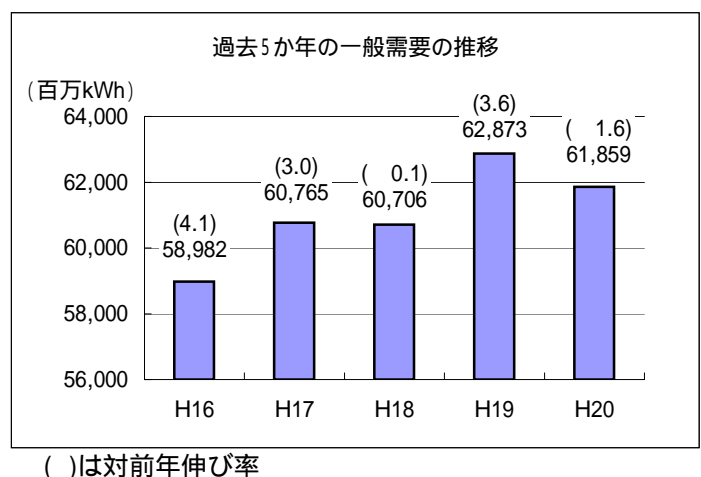
2 用途別実績

(1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

気温が前年に比べ、夏季は低めに冬季は高めに推移したことによる冷暖房需要の減少などから、前年に対し 1.6%となりました。

(平成18年度以来、2年ぶりに前年を下回り、 1.6%は過去最低)

	実績	平年差	前年差
4月	15.4	0.2	0.3
5月	19.8	0.5	0.5
6月	22.4	0.4	1.4
7月	28.8	1.9	2.2
8月	27.8	0.3	1.2
9月	25.2	1.1	1.9
10月	20.4	1.5	0.8
11月	13.5	0.1	0.6
12月	8.9	0.2	1.1
1月	6.7	0.2	1.0
2月	10.2	3.0	3.9
3月	11.8	1.5	0.6



(2) 大口電力需要

上期に輸送用機械や化学、非鉄金属などで生産が堅調に推移したものの、下期に電気・輸送用機械や鉄鋼など主要業種で大幅に生産が減少したことなどから、前年に対し 4.7%となりました。

(平成13年度以来、7年ぶりに前年を下回り、 4.7%は過去3番目)

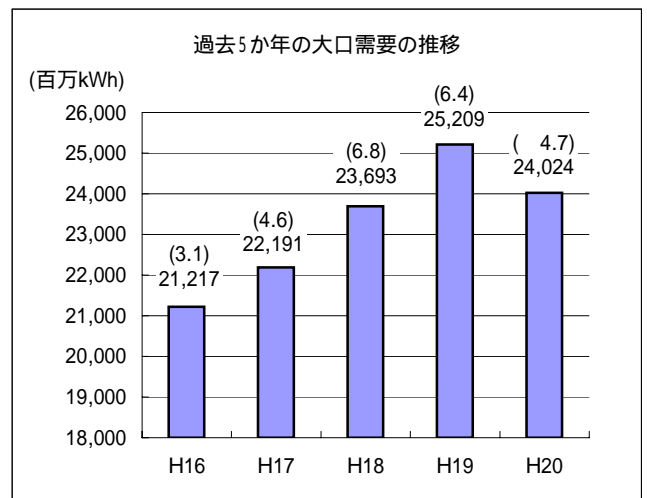
(百万kWh, %)

	実績	対前年 伸び率	構成比	特 徴
機 械 計	7,248	6.5	30.2	
電気機械	5,236	7.9	21.8	半導体やデジタル家電の生産減など
輸送用機械	1,492	0.4	6.2	上期の生産増や下期の生産減など
鉄 鋼	2,519	18.4	10.5	大幅な生産減や一部工場における自家発電動増など
化 学	2,630	0.8	10.9	上期の生産増や下期の生産減など
窯 業 土 石	1,139	7.7	4.7	生産減や一部工場における自家発電動増など
非 鉄 金 属	1,680	0.9	7.0	上期の生産増や下期の生産減など
大 口 電 力	24,024	4.7	100.0	

(注) その他があるため、各項目の合計は大口電力合計と一致しない。

至近5期大口電力主要業種別対前年同期伸び率 (%)

	H18		H19		H20	
	下	上	下	上	下	
機 械 計	6.2	6.5	5.2	2.3	15.7	
電気機械	4.2	3.6	1.8	0.3	16.7	
輸送用機械	12.0	15.8	18.7	14.1	12.5	
鉄 鋼	16.7	14.1	3.9	3.7	33.0	
化 学	7.6	10.5	11.3	15.9	12.8	
窯 業 土 石	11.9	0.6	13.1	7.3	8.2	
非 鉄 金 属	7.2	4.1	8.6	14.0	12.3	
大 口 電 力	7.4	7.9	4.9	3.2	12.8	

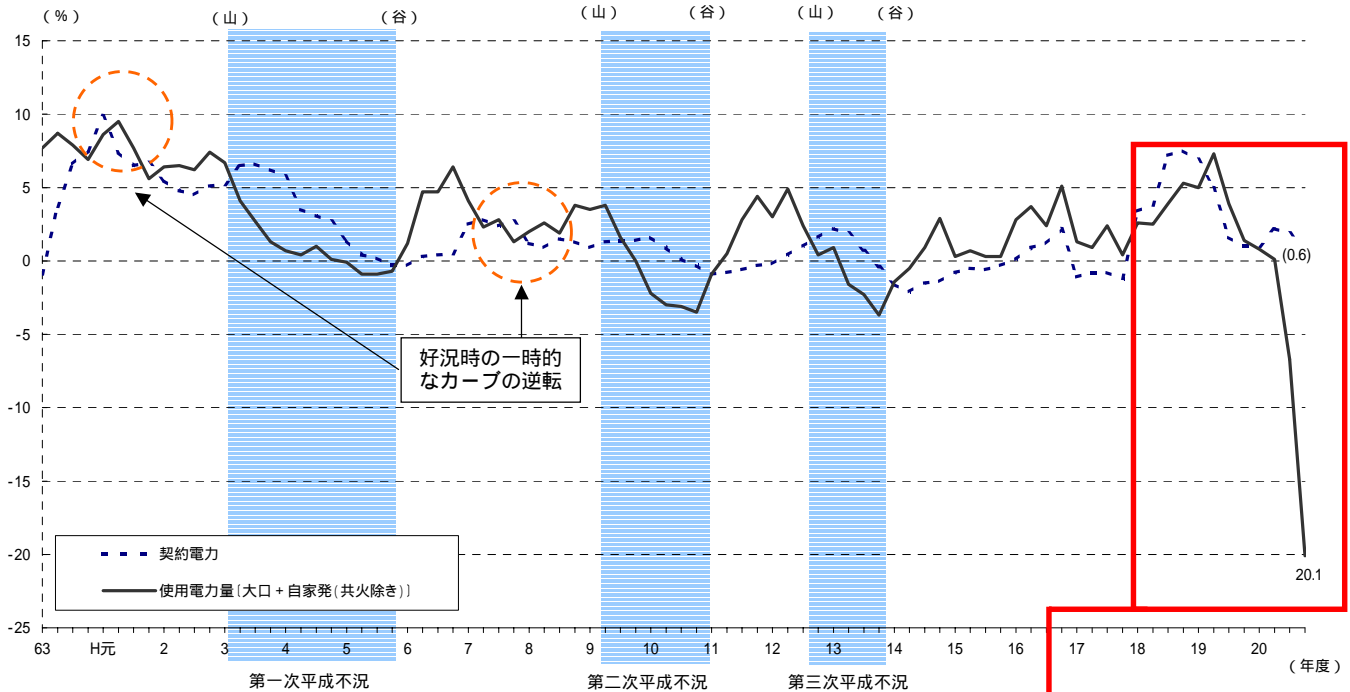


()は対前年伸び率

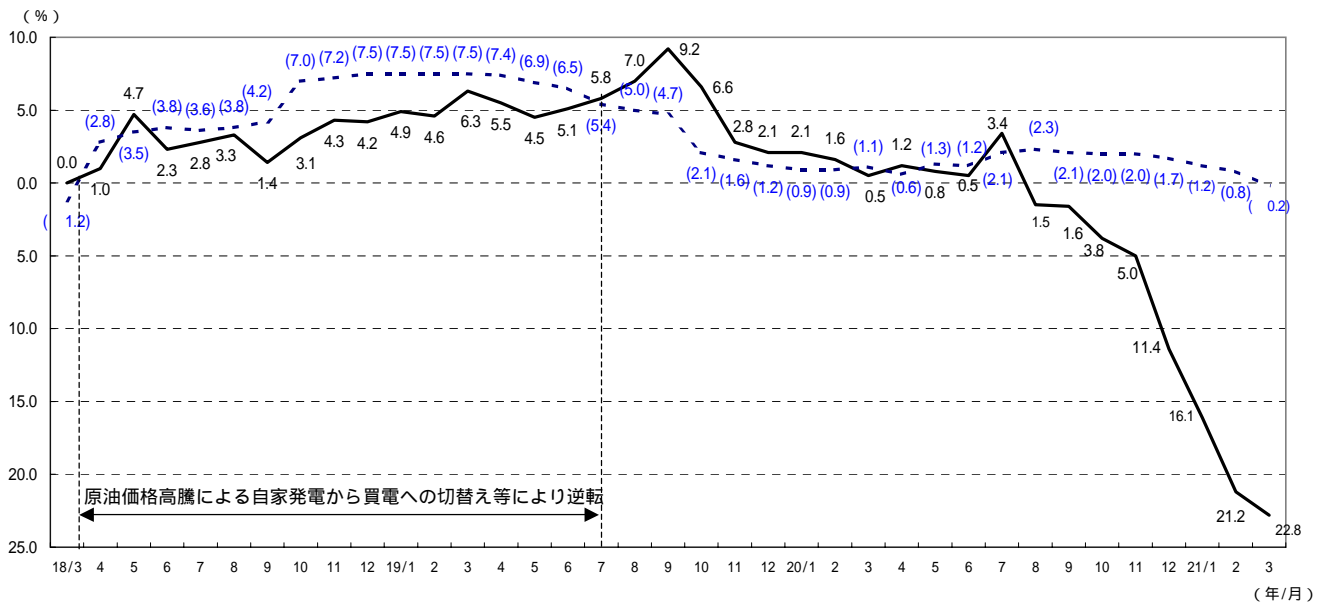
以 上

大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

（１）四半期別動向



（２）月別動向



大口カーブについて

景気動向の物差しの一つとしている大口カーブについては、8か月連続で使用電力量の伸びが契約電力の伸びを下回りました。

大口カーブは一般的に、「使用電力量」の伸びが生産活動の活発さを、「契約電力」の伸びが工場などの生産能力と、設備投資の伸びを反映しており、好況時には使用電力量の伸びが契約電力の伸びを上回り、不況時にはその逆の現象が起こります。

そのため、九州の景気は悪化が続いているものと考えられます。

< 大口カーブの諸元 >

上段：大口契約電力対前年同期比（％）

下段：大口販売電力量 + 自家発電使用電力量(共火除き：うるう補正後)の対前年同期比（％）

(四半期)

	63				元				2			
契約電力	0.9	3.7	6.6	7.5	9.9	7.4	6.5	6.7	5.5	4.8	4.5	5.1
使用電力量	7.7	8.7	7.9	6.9	8.6	9.5	7.7	5.6	6.4	6.5	6.2	7.4

第一次平成不況

	3				4				5			
契約電力	5.2	6.5	6.6	6.2	5.8	3.5	3.1	2.7	1.4	0.4	0.2	0.3
使用電力量	6.7	4.1	2.7	1.3	0.7	0.4	1.0	0.1	0.1	0.9	0.9	0.7

	6				7				8			
契約電力	0.3	0.3	0.4	0.5	2.5	2.8	2.4	2.7	1.2	0.9	1.5	1.3
使用電力量	1.2	4.7	4.7	6.4	4.1	2.3	2.8	1.3	2.0	2.6	1.9	3.8

第二次平成不況

	9				10				11			
契約電力	0.9	1.3	1.4	1.4	1.6	0.9	0.1	0.3	0.9	0.8	0.6	0.3
使用電力量	3.5	3.8	1.6	0.0	2.2	3.0	3.1	3.5	0.9	0.5	2.8	4.4

第三次平成不況

	12				13				14			
契約電力	0.2	0.4	1.0	1.6	2.2	1.9	0.7	0.4	1.6	2.1	1.5	1.4
使用電力量	3.0	4.9	2.4	0.4	0.9	1.6	2.3	3.7	1.4	0.5	0.9	2.9

	15				16				17			
契約電力	0.8	0.5	0.6	0.3	0.1	0.9	1.2	2.2	1.1	0.8	0.8	1.2
使用電力量	0.3	0.7	0.3	0.3	2.8	3.7	2.4	5.1	1.3	0.9	2.4	0.4

うるう補正前<1.1>

うるう補正前<4.3>

	18				19				20			
契約電力	3.4	3.8	7.2	7.5	6.9	5.0	1.6	1.0	1.0	2.2	1.9	0.6
使用電力量	2.6	2.5	3.9	5.3	5.0	7.3	3.9	1.4	0.8	0.1	6.7	20.1

うるう補正前<2.5>

うるう補正前<21.0>

(月別)

	17/4	5	6	7	8	9	10	11	12	18/1	2	3
契約電力	1.0	1.2	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	1.0	1.3	1.2
使用電力量	3.8	0.9	1.0	0.7	0.5	2.9	2.1	1.7	3.4	1.0	0.4	0.0

	18/4	5	6	7	8	9	10	11	12	19/1	2	3
契約電力	2.8	3.5	3.8	3.6	3.8	4.2	7.0	7.2	7.5	7.5	7.5	7.5
使用電力量	1.0	4.7	2.3	2.8	3.3	1.4	3.1	4.3	4.2	4.9	4.6	6.3

	19/4	5	6	7	8	9	10	11	12	20/1	2	3
契約電力	7.4	6.9	6.5	5.4	5.0	4.7	2.1	1.6	1.2	0.9	0.9	1.1
使用電力量	5.5	4.5	5.1	5.8	7.0	9.2	6.6	2.8	2.1	2.1	1.6	0.5

うるう補正前<5.3>

	20/4	5	6	7	8	9	10	11	12	21/1	2	3
契約電力	0.6	1.3	1.2	2.1	2.3	2.1	2.0	2.0	1.7	1.2	0.8	0.2
使用電力量	1.2	0.8	0.5	3.4	1.5	1.6	3.8	5.0	11.4	16.1	21.2	22.8

うるう補正前<23.9>